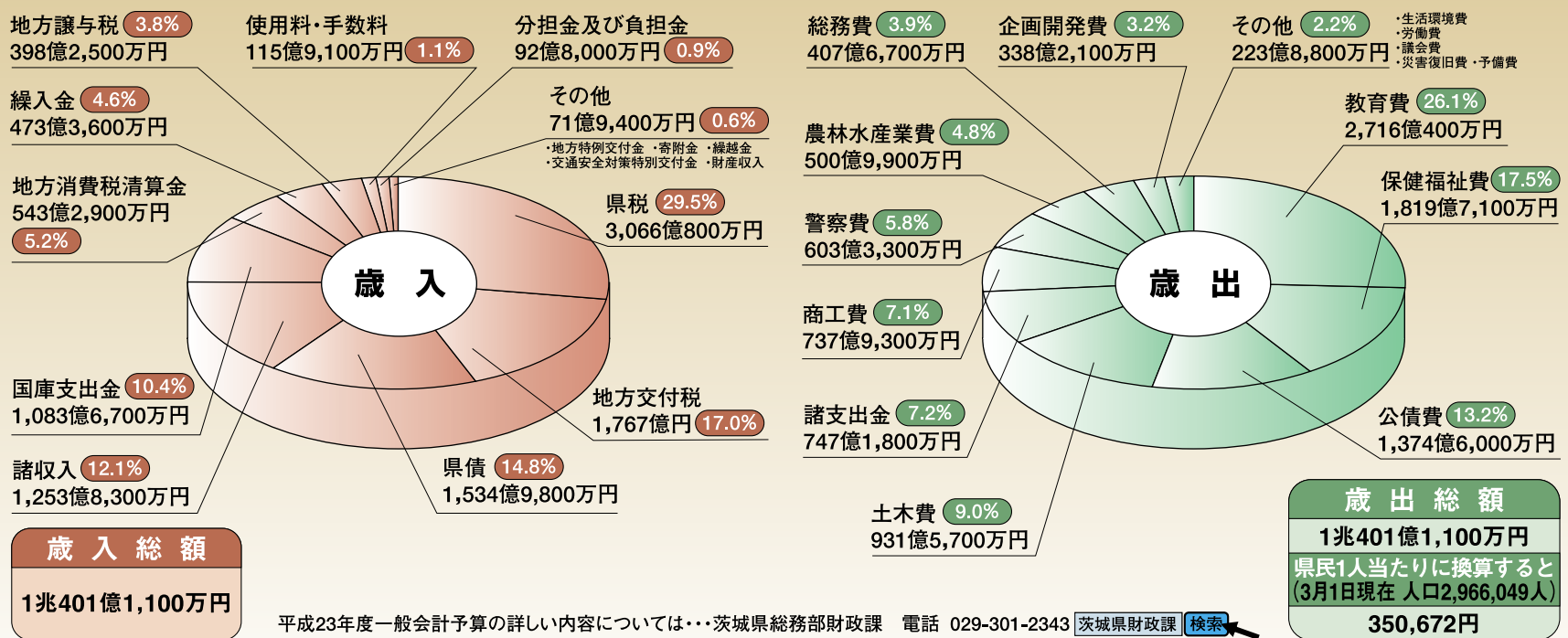


今定例会で可決された平成23年度一般会計予算の内訳



平成二十三年度 各党派基本方針

いばらき自民党
いばらき自民党会長

西條 昌良

大震災復興対策に 万全期す

去る三月十一日に発生した東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。また、被害に遭われた皆様の速やかな回復と、被災地の一日も早い復興を衷心よりお祈り致します。

さて、政権交代下で行われた昨年十二月の改選後、いばらき自民党は新たな結集により、地方から政権奪取への動きを加速させようとして、決意も新たに第一歩を踏み出しました。

本県では、昨年の茨城空港の開港に続き、三月には北関東自動車道が全線開通するなど、わが会派が重点的に取り組んできた陸・海・空の広域交通網がほぼ概成しました。

民主 復興に向けて全力を 尽くします

民主 長谷川 修平
民主党茨城県議会議員団代表

このたびの東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様にお見舞いを申し上げます。一日も早い復興のため、県民の皆様とともに努力してまいります。

さて、我々は二元代表制の一方であり、その本来の役割をしっかりと果たせるようにやっていかなくてはなりません。

新たな総合計画による県づくりが始まりましたが、産業大県づくりの成果を生かして、県民が安全・安心、快適に暮らすことができる「生活大県」を目指すという県政運営の指針は、景気・雇用対策、医療や福祉、教育の充実など、次の世代が夢を持つ元氣な茨城づくりを進めようとする、わが会派の基本姿勢と軌を一にするものです。

今年一年目に当たり、我々は、従来の議会改革に加え、地方分権時代にふさわしい議会、あり方を検討する組織を立ち上げ、短期・中期の課題から検討作業に着手しました。

戦後最大の地震と津波、さらに原発事故の三重苦は、我々が推し進めてきた「安全・安心」な地域社会づくりに対して、衝撃的な問い掛けでした。我々は、風評被害対策を含む復興対策に万全を期し、一日も早くふだんの生活がすすみますよう、党派とともに対策本部を設置し、その対策に奔走しているところです。県民の皆様のご支援・ご理解を切にお願い致します。

公明党
公明党茨城県議会議員代表

井手 義弘

災害に強い生活大県 いばらきづくりに全力

この度の東日本大震災に当たり、被災されました皆さまに心からお見舞い申し上げます。

地震発生その瞬間から、公明党の4人の県議会議員は、不眠不休の体制で、現場の最前線で情報収集や被災者の皆さまの支援、国や県、市町村への要望活動など、地域の皆さまと苦労や悲しみを共にしました。

有しながら、現場を駆け回ってきました。東日本大震災によって、災害時の危機管理など、地域の課題が明確になりました。災害に強いまちづくり、原子力に過度に依存しないまちづくり、農業や漁業の風評被害の払拭、道路・港湾・鉄道などの産業基盤の早期復旧、そして、一刻も早い県民生活の安定など、私ども県議会に課せられた責任は非常に大きなものがあります。

そして、何よりも「支えあう日本・助け合う茨城」の構築は急務であり、地域の中に自助・共助・公助のバランスの取れた新たな福祉社会を構築するため、私ども公明党は全力を挙げてまいります。

私ども公明党県議員は、「災害に強い生活大県いばらき」をめざし、今後の住みやすいいばらきをめざし、今後とも努力してまいります。県民の皆さまのご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

自民県政クラブ
自民県政クラブ代表

江田 隆記

東日本大震災への早急な対応を

三月十一日発生した東日本大震災は、大津波、福島原発事故、さらに風評被害をももたらしました。まさに青天のへきれきである自然大災害、人的大災害となつて、日本のみならず世界をも震撼とさせ、未曾有の出来事となつて我々に襲いかかってきました。

お亡くなりになられた多くの犠牲者の方々には謹んで哀悼の誠を表すとともに、被災されました皆様にも心よりお見舞い申し上げます。

私共自民県政クラブは、早速県内各地の港湾、漁港、霞ヶ浦用水施設、農業等の生産者、酪農家等への視察と話し合いを積極的に行っていました。その中で公共インフラの早期復旧への支援、その中で公共インフラの補償、出荷自粛品目への弾力的な解除、早急な財政支援、原子力の安全対策等々の切実なる県民の要望を聞いてきました。早速県政に反映し、国へも強く要望してまいります。

今年度から「生活大県」を掲げた県の総合計画がスタートしました。その中でも危機管理対策、防災対策を更に強固にしていき、県民にとって安心安全の茨城県づくりにまい進してまいります。隻手音声、声なき声をしっかりと受け止めて会派議員一丸となって県政発展に取り組みたいと思います。

みんなの党
みんなの党茨城県議会代表

梶岡 博樹

県政に新しい風を

震災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された方々にお心からお見舞い申し上げます。我々も復興に向けてオール茨城で全力で取り組んで参ります。

昨年の県議選では皆様にご支援をいただき本党にありがとうございます。今後は茨城の新しい保守の形を目指します。みんなの党は組織団体のしがらみがない

覚悟の集団です。知事を始めとする執行部の民主党、また、他の会派とも適度な距離と緊張感を保ち、本党の意味での是非々の姿勢で県議会に臨み、本党に県民のお役に立てる政党を目指します。昨今の厳しい財政状況の中で、地元への利益誘導政治はもう時代遅れであります。オール茨城で連携した県議会では、仮に知事と県議が慣れ合った六十五人がみんな地元へ残高がますます増えていくのは当然です。県民は県知事が六十六人いることを望んでいるのではなく、知事の施策へのチェック機能をきちんと果たすことを望んでいます。みんなの党は、「県の借金を増やさない」を合言葉に、県民重視の県議会活動を進めていき、県議会に新しい風を送り続けることをお誓い申し上げます。